

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ファッションビジネス論	30	ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。 単に衣服を生産し販売するというだけではなく、環境問題もふまえた人々のあり方を考え、服や着こなしに対する消費者のニーズを察知し、新しい考え方や技術に基づいて商品をつくり、効果的な方法で消費者に提案・購入・満足してもらうためのビジネスである事を理解する。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	モード史 I	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を経験している金原陽子氏による授業。 ・自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。・過去のテキスタイル技法、縫製技法などを知る。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	モード史 II	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を経験している金原陽子氏による授業。 ・過去のトレンドが現在のトレンドのベースになることも少なくない。過去をひも解き、現在を知り、近未来のトレンドを予見してみる考察力を養う。・得た知識をコーディネート表現に活用出来る。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ファッションブランド研究 I	30	ファッション業界においてファッションデザイナーとして活躍している時田智弘氏による授業。 能動的に物事を進める力を養う。 リサーチ力、コラージュ制作などクリエイティビティを養う。 パソコンを使って、アナログ的な手法を使って等色々な方法を考えて進める。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ファッションブランド研究 II	30	ファッション業界においてファッションデザイナーとして活躍している時田智弘氏による授業。 1年次のリサーチ、コラージュ作りで培った能力を2年次ではクオリティのアップ、よりビジネスを意識して企画、テーマを練って独自の発想力を養う。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	マーケティングリサーチ	30	企業内でマーケティング部門に所属する土屋香美氏の授業。 感性マーケティング・・・共感するセンスを磨く（入門編） ・商品やサービスの目的を理解し、マーケティングの感性を育てる。 ・取り巻く環境、市場（企業）の動き、生活者の意識の変化やニーズに気づく力を養う。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	セールスプロモーション I	30	(株)ヒューマンフォーラム スピンスデザイナーおよびスピンス ZOZOTOWN本部長を務める野村佳祐氏による授業。店舗出店の際に必要なとされる販売促進ツールのひとつポスター、チラシのデザインを制作する。ショップコンセプトが反映され、より集客につながる表現技法を学ぶ。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	デザイン発想 II	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。 卒業制作展に関わるレイアウト技法習得による平面デザイン表現力を養う。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	マーチャンダイジング	60	ファッションブランドのプロデュース経験のある大方和則氏が担当する。マーチャンダイジングの基本である5適を店舗企画の流れに沿って実践的に身につける。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	VMD	30	VMDインストラクターの資格を持つ繁田 和美氏が担当する。店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計やゾーニングができる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ファッションデザイン画 I	30	海外トップブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN ファッションデザイナー カルフォ香奈氏による授業。 ・アパレルメーカーの様々なシーンで必要となるファッションデザイン画、特に企画や展示会などの資料 作成に欠かせないハンガースタイル、生地スワッチ、を理解し描けるようにする。 ・トレンドを意識したアイテムやシルエット、生地感などを意識できるようにする。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	アパレル素材論 I	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を行っていた金原陽子氏による授業。 ・アパレル製品の欠くことが出来ない要素である『素材』に興味をもち、以後研鑽していこうとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解することで、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。

服飾・家政	ファッションビジネス科	2	アパレル素材論Ⅱ	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を行っていた金原陽子氏による授業。 ・『素材』は衣服を構成する要素の一つである。物性・感性両面での素材知識を学ぶ。 ・学んだ知識を折り込み、コーディネート提案、アドバイスが出来るようになる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	色彩学	60	カラーコーディネーターとして教育機関、企業で色彩理論について指導している小長谷由紀子氏による授業。 ファッションビジネスに関連する仕事を遂行する上で必要とされる色彩の基礎や配色、イメージにあったカラーコーディネートを習得し、色彩検定3級合格を目指します。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	パーソナルカラーⅠ	30	カラーコーディネーターとして教育機関、企業で色彩理論について指導している小長谷由紀子氏による授業。 ファッションビジネス業界におけるカラーコーディネートの重要性・関連性に基づき、パーソナルカラーの知識を身につけ、自分ブランドからお客様にアドバイスできる力を習得します。パーソナルカラー検定モジュール1(初級レベル)合格を目指します。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	パーソナルカラーⅡ	30	カラーコーディネーターとして教育機関、企業で色彩理論について指導している小長谷由紀子氏による授業。 1年で学んだパーソナルカラーの基礎をベースにし、応用知識の習得と実践的な力を身につけます。他者へのアドバイス方法と販売、サービス業での活用方法の理解を深め、レベルアップした証にパーソナルカラー検定モジュール2(上級レベル)の合格を目指します。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	接客マナーⅠ	60	(株)ワールドストアパートナーズに勤務し、接客販売を行なうとともに従業員教育を行なっている斎藤千明氏、及び阿部吉志子氏による授業。 アパレルの販売現場における実践的な接客技術について学ぶ。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	接客マナーⅡ	60	(株)ワールドストアパートナーズに勤務し、接客販売を行なうとともに従業員教育を行なっている斎藤千明氏、及び阿部吉志子氏、並びに、アパレルショップを営んでいる澤田恭子氏による授業。 アパレルの販売現場における実践的な接客技術について学ぶ。 接客コンテストに向けた高度な商品知識と良質なサービスを兼ね揃えた接客技術の向上を目指す。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	スタイリングワークⅠ	30	ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。 ファッションコーディネートをする上で必要な、アイテム知識、トレンド知識、色・素材・柄・感覚に視点を置いた論理的なコーディネートの基本を学び自身の表現手法の幅を広げる。2年次の対お客様や芸術的なコーディネート提案へとつなげていく。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	スタイリングワークⅡ	30	ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。 ①トレンドのスタイリングを把握し先を予測する力を養う。 ②ファッションに影響を与えたカウンターカルチャーを知り知識、技術、着こなしの幅を広げる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ヘアメイク実習Ⅰ	30	美容業界で美容師として活動していた岩本ひとみ氏による授業。 ①ヘアメイクの知識、基本的な技術を学び、ファッションをトータルでスタイリングする力をつける。 ②ファッションに合ったヘアメイクを学び、自己表現をの可能性を広げる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ヘアメイク実習Ⅱ	30	美容業界で美容師として活動していた岩本ひとみ氏による授業。 ・ヘアメイクの応用を習得 ・トータルでイメージを表現、演出する力を習得する
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ショップマネージメントⅠ	30	公認会計士である松本真由美氏による授業。 店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を計算演習により習得する。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ショップマネージメントⅡ	30	公認会計士である松本真由美氏による授業。 店舗責任者・売場責任者として計数管理を応用し、品揃え・仕入・販促企画と連動した売上目標の設定から売上分析ができる
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ビジネスプランニングⅠ	30	企業にてマーケティング、企画立案に従事していた川松夕見子氏による授業。 ・「問題意識」をベースにした課題発見力を身につける。 ・企画に不可欠な要素とそれを組み立てる方法を理解する。 ・ベーシックな企画書の書き方がわかる。 ・2年次の「ビジネスプランニング」に向けてのヒントを得る。

服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ビジネスプランニングⅡ	60	<p>企業にてマーケティング、企画立案に従事していた川松夕見子氏による授業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに不可欠な要素を理解し、市場や企業の動向、消費者意識やニーズをとらえること。 ・実現可能性のあるビジネスプランをまとめ、プレゼンテーション(提案)ができること。 ・グループワークにより、共通の目標に向け各自役割を持って協力し合えること。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	実習店舗	60	<p>ファッション業界において販売、バイヤーに携わっている渡辺一弘氏と、ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。</p> <p>店舗企画を基に、デザインファームにおいて商品仕入から販売促進、店舗演出、接客、ショップマネジメントなどの運営における全ての業務を行い、店舗を形成する業務の一連の流れと全体の構成を理解する。</p>
ファッションビジネス科				990	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	パターンメイキングⅠ	120	アパレルメーカーにてパタンナーやデザイナー経験を持ち、mituya etuji ショップオーナー中本悦司氏による授業。 パターンの基本的な知識や考え方、ディテールの構造を知り、パターンに落とし込むことができるようになる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	パターンメイキングⅡ	90	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業。 応用あるデザインに対応できるパターン技術が身につく。実践現場で必要な工業用パターン、グレーディングも理解できる。 パターンメイキング技術検定3級をチャレンジ取得する。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	パターンメイキングⅢ	90	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業。 より高度な技術を学び、多彩なデザインに対応できる知識を学ぶ。 パターンメイキング技術検定2級をチャレンジ取得する。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ドレーピングⅠ	30	アパレルメーカーにてパタンナーやデザイナー経験を持ち、mituya etuji ショップオーナー中本悦司氏による授業。 ドレーピングの基本的な知識や考え方、トワルの組み立て技術を学び、パターンに活用することができるようになる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	ドレーピングⅡ	60	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業。 ドレーピングでアイテムを組み立てられる技術、能力が身につく。製図を立体で行えるようになる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	アパレルCADⅠ	30	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業 CADシステムの理解とアパレル業界での必要性を認識する。CADの操作の基礎を学ぶ。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	アパレルCADⅡ	30	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業。アパレル業界で就職するにあたっての、CADの重要性の確認。 手で行うパターン作成をスムーズに正確にCAD化する。 CADを通して、仲間との協力、自分自身の自信をつける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ファッションデザイン画ⅠA	60	イタリアほか国内のアパレルメーカーにて企画デザイナー経験のある、フリーランスのファッションデザイナー大谷順氏による授業。ファッションデザイン画の基礎を習得する。 様々な着装・素材・発想表現が出来る。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ファッションデザイン画ⅠB	30	アントワープ王立芸術アカデミーファッション学科を卒業後、ファッションデザイナーとして活躍している中島輝道氏による授業。ファッション以前、古代服飾史の研究を通して、服飾への理解を深めるとともに、テーマからの発想力、展開力を鍛え、表現の応用力を身につける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	ファッションデザイン画Ⅱ	60	イタリアほか国内のアパレルメーカーにて企画デザイナー経験のある、フリーランスのファッションデザイナー大谷順氏による授業。テーマ性のあるデザインを発想し描く力が身に付く。学外のコンテストやコンペへチャレンジする。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	ファッションデザイン画Ⅲ	60	ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズファッションウイメンズ科を卒業し、海外ブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGNデザイナー カルフォ香奈氏による授業。 リサーチ、アイデアの発想・発展、服飾造形、表現、というすべての側面からデザインを発展させ、ファッションデザインを通してオリジナルの表現をすることを学ぶ。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	アパレル素材論Ⅰ	60	アパレルメーカーにて企画営業・パタンナー経験のある金原陽子氏による授業。アパレル製品の欠くことが出来ない要素である『素材』に興味をもち、以後研鑽していくとする動機付けをする。 様々な素材の物性・感性を理解することで、他の教科にも得た知識を活用することができる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	アパレル素材論Ⅱ	30	アパレルメーカーにて企画営業・パタンナー経験のある金原陽子氏による授業。『素材』は衣服を構成する要素の一つである。骨組みである他の要素とで、バランスの良い衣服をデザイン表現し、具現化出来る様になる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ファッションビジネス論	30	ファッションライセンスやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。 ファッションビジネスの基礎知識の理解とファッション産業構造の把握。併せて、専門業務の把握による職種選択の指針とする。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	モード史	30	アパレルメーカーにて企画営業・パタンナー経験のある金原陽子氏による授業。自己表現の手段としての『衣服』、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールを紐解きながら、衣服を再確認する。過去のテキスタイル技法、縫製技法などを知る。

服飾・家政	ファッションデザイン科	1	デザインアプリケーションⅠ	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	接遇マナーⅡ	30	販売・接客の実務経験があり、現在人材教育コンサルティング企業に所属する桑原水保氏による授業。アパレル業界の最終点、「売れる」ことによる「やりがいと喜び」の実践に向けた基礎知識を学び、消費者に対するマインドやスキルを体得する。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	ポートフォリオ制作	30	ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ ファッションウィメンズ科を卒業し、海外ブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN デザイナー カルフォ香奈氏による授業。ヴィジュアルリサーチ、アイデアデザイン発展、表現を身につける。デザインアイデアをどのようにして発展させファッションにしていけるか研究し、自分の得意なことを見つけ、興味の幅や考える力をつける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	生産企画実習	90	アパレルメーカーにてパターンナーやデザイナー経験を持ち、mituya etuji ショップオーナー 中本悦司氏、及びロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ ファッションウィメンズ科を卒業し、海外ブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN デザイナー カルフォ香奈氏による授業。による授業。工業用パターン・縫製仕様書・縫製依頼書を作り、工場投入を経験する。専門職の知識と技術を高めて、業界入社に備える。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	クリエイション	120	海外ファッション業界においてファッションデザイナーとして活躍している時田智弘氏、及び海外ブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN デザイナー カルフォ香奈氏による授業。リサーチを進める手法からデザインへ発展させるクリエイティブ性を学ぶ。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	SPA企画	60	アントワープ王立芸術アカデミー ファッション学科を卒業後、ファッションデザイナーとして活躍している中島 輝道氏による授業。マーケットに流通している顧客視点をバランス良く取り入れた自分達のオリジナルなデザインとブランドを作る方法を学ぶ。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	SPA実習	60	ファッションライセンスやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。企画・デザイン・製作・販売・出店と、各工程で学ぶ授業をSPA業態のスタイルで連結させ、販売に向けた実践ワークを行う。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	SPA製作	210	ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ ファッションウィメンズ科を卒業し、海外ブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN デザイナー カルフォ香奈氏による授業。ブランドディレクションをテーマに造形技術を状況に合わせて応用、展開し、発展する力が身につく。SPA業態のスタイルに沿った実践力が身につく。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	キャリアプランⅡ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏を実施する授業。 ①コミュニケーション能力を高める ②社会人に求められているものを把握する ③就職に対する疑問点、不安感の解消
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	産学連携プロジェクト	30	ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ ファッションウィメンズ科を卒業し、海外ブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN デザイナー カルフォ香奈氏による授業。リサーチからアイデア発展させデザインを形にする方法を研究する。地域のイベントに参加し、クリエイションを通して人と関わる価値を知る。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	卒業制作企画	60	ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ ファッションウィメンズ科を卒業し、海外ブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN デザイナー カルフォ香奈氏による授業。クリエイティブをテーマにデザインの創造過程をポートフォリオにまとめる。卒業制作展での展示発表を企画する。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	卒業制作演出	30	ファッションライセンスやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。自身のクリエイションをコンセプチュアルに魅せる手法を学ぶ。また多種多様なデザイナーと協同し、ステージスタッフとセッションすることで総合的にディレクションする力を身につける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	ファッションデザイン特別実習Ⅲ	30	ソーイングスタジオに勤務した経験を持ち、現在は個人事業主として東京コレクションのショーサンプルの制作などを行なっている小川智司氏による授業。作品制作に反映させることができるよう、縫製工場などでも通用する技術を身につける。
ファッションデザイン科				1620	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ブライダル基礎A	60	現役ドレスコーディネーター、NPO法人全日本ブライダル協会認定講師 宇佐美 陽美氏、日本グローバル協会認定講師 山本知子氏が実施する。ブライダル業界において基本的な知識を学習し、ブライダルファッションプランナー資格検定取得を目指す。グループ・個人での仕事の違いを把握させる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ブライダル実習	30	美容士の資格を所持し、サロン勤務経験のある岩本ひとみ氏が担当する。基礎的なブライダルヘアメイク知識を身につけ、バリエーションの幅を広げられるようにする。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	デザイン基礎	30	メーキャップアーティストとしての経験を持つ朝比奈将人氏、及び美容士の資格を所持し、サロン勤務経験のある森川真琴氏が担当する。ヘアメイクデザインを研究し、ヘア及びメイクで表現するまでの基礎を習得する。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	化粧品学	30	サロンオーナー スキンケアのスペシャリスト 田中皓子氏が実施する。心、体、肌がすべて健康で美しくいられるようトータルでアドバイスができる。知識を学び実践することにより、信頼される人材になる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	メイク実習 I	120	ビューティーセラピストでToah style主催、CENTRO STILE MODA〔Milano〕認定メイクアップディレクター、JMA1級認定講師、シニアメイクアップアドバイザー、shu uemura認定講師 徳差あつこ氏と、メーキャップアーティストでSHEPHERD代表 加藤亮臣氏が実施する。スキンケアテクニクからノーマルメイクアップ及びモードメイクアップ、ファッションメイクアップまで完成させる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	メイク実習 II	90	メーキャップアーティストでkunny's主催、スタジオメーキャッパー、メディカルやエアブラシなど幅広い技術を持つ、岡野訓子氏が実施する。即戦力となれる人材として、施術相手の顔分析を行い、テーマ又は必要イメージを適切な技術でメイクアップ表現することを学ぶ。コンクールへの作品応募も行う。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ネイル実習	60	ネイルサロン&スクールのオーナーで日本ネイリスト協会本部認定講師 大石加代子氏が実施する。正しいネイルケアの技術や、フラットアート/エンボスアートの技術を取得し、JNECネイリスト技能検定試験にチャレンジ取得できる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ネイルアート I	60	ネイルサロン&スクールのオーナーで日本ネイリスト協会本部認定講師 大石加代子氏が実施する。正しいネイルケアの技術や、フラットアート/エンボスアートの技術を取得し、JNECネイリスト技能検定試験にチャレンジ取得できる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	ネイルアート II	90	現役ネイリスト、日本ネイリスト協会本部認定講師、日本ネイリスト協会 小出香織氏が実施する。JNECネイリスト技能検定試験2級のチャレンジ取得。ネイルを主にした職種への就職に繋げる。ほか、卒業制作展にてデザイン性や高度な技術作品を制作展示ができる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ヘア創作実習 I	60	現役ヘアスタイリスト 円城寺 大河氏が実施する。頭の構造から髪の長さを理解し想像力を深める。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	ヘア創作実習 II	60	サロン勤務と並行して、現役スタイリスト omeকাশiiにて、フリーランスで介護やハンディキャッパーのスタイリング提案にも力を注ぐ前田紗侑里が実施する。基礎を生かし想像力を働かせていくなかで 社会性を身につける行動力を学ぶ。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	アロマセラピー	30	サロンオーナー 癒しのセラピスト 遠藤幾美氏が実施する。体や心の悩みをアロマセラピーを通してセルフケアが出来る。実践ハンドトリートメントをスキルアップし、実践出来る。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	着付け I	30	理容サロンに勤務し着付けも行って実務経験のある、東洋きもの文化学院学院 大野泰世氏が日本の伝統文化を実施する。「きもの」の形・名称・畳み方等基礎から進み、着装手順を身につけ自装着つけから着せつけが出来るようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	着付け II	30	理容サロンに勤務し着付けも行って実務経験のある、東洋きもの文化学院学院 望月奈緒美氏が日本の伝統文化を実施する。きもの美学は、精神性・装飾性、機能性等が調和して成立させることを実習、技と心のスキルアップを求め、式服(留袖や振袖・色無地・袴姿等)着つけ・着せつけ一般知識及び実技を身につける。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	礼法 I	30	小笠原流礼法宗家本部に勤務し、企業等に対して礼儀や躰の指導を行っている安松弥生氏が実施する。礼儀作法のこころとかたちの双方を理解し、基本動作を身につける。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	礼法 II	30	小笠原流礼法宗家本部に勤務し、企業等に対して礼儀や躰の指導を行っている安松弥生氏が実施する。1年次で学んだ礼儀作法のこころとかたちを身につけ 臨機応変な立ち居振る舞いができるようになる。

服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	接遇マナーⅠ	30	大手百貨店にて接客業務およびサービス教育担当として勤務している小林一彦氏が実施する。適切な言葉遣いができ、5大行動(笑顔・挨拶・大きな声・返事・機敏な動作)が体现できるようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	接遇マナーⅡ	30	大手百貨店にて接客業務およびサービス教育担当として勤務している小林一彦氏が実施する。その状況に応じた適切な言葉遣いができ、お客様・職場の方々に、好感を持っていただけるような5大行動(笑顔・挨拶・大きな声・返事・機敏な動作)が体现できるようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	色彩学	60	色彩検定協会認定 色彩、UC級講師、大橋としみ氏が担当する。『色彩検定3級』資格取得により、基本的なカラープラン、カラーコーディネートができるようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	パーソナルカラーⅠ	30	NPO日本パーソナルカラー協会 認定講師 大橋としみ氏が実施する。色彩の基礎知識に加え『パーソナルカラー理論・診断法』を学習し『パーソナルカラー中級』資格取得を目指す。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	パーソナルカラーⅡ	60	NPO日本パーソナルカラー協会 認定講師 大橋としみ氏が実施する。色彩の一般知識に加え『配色法・パーソナルカラー診断法』を学習し『パーソナルカラーアシスタントアドバイザー』の資格取得によりカラーコーディネートの幅を広げることができる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	着付けⅢ	30	理容サロンに勤務し着付けも行っていた実務経験のある、東洋きもの文化学院学院望月奈緒美氏が日本の伝統文化を実施する。着物に携わる全ての職業に適用する技術を身につける。きもの講師3級免許取得、全員合格を目指す。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	ネイルトレーニング	60	現役ネイリスト、日本ネイリスト協会本部認定講師、日本ネイリスト協会 小出香織氏が実施する。JNECネイリスト技能検定試験2級取得。サロンワークで通用するネイルケアの知識・技術の習得をし、ネイル関係・美容関係の就職に繋げる。
ブライダル・ビューティー科				1140	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	マーケティング	30	企業にてマーケティング、企画立案に従事していた川松夕見子氏による授業。ビジネスプラン作りの基本となるマーケティングの基礎知識と考え方を学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	企画論	30	企業にてマーケティング、企画立案に従事していた川松夕見子氏による授業。日常生活から社会全般まで問題意識を持って課題発見する視点を養い、そこを出発点に具体的なビジネスプランを組み立てるプロセスを学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	プレゼンテーション技法	30	デザイン事務所経営の甲賀雅章氏が担当する。デザインの社会的役割とは様々な課題を解決するための極めて有効な手段であることを実感すると同時にデザイナーの可能性を知る。また、事例研究により、世界のデザインの現状を知る。それらを通して、自らに足りない要素を発見していく。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	広告メディア論	30	広告のコピーライターである岡本國治氏が担当する。メディアを知ること、コミュニケーションの原点を理解すること。「伝え方」を知ること。発信者(企業・商品)や受信者(ターゲット)について知り、何を伝えるかを考え、どう伝えるかを極めること。伝える本質を間違えず、意図する結果＝「伝わる表現」にはならない。この講義では、それぞれの時代背景の中で、どんな広告メディアを使い、どんな表現がされてきたか。実例を蓄積することで、新しい表現を生み出すための「考え方」「表現アイデア」、および自分の気持ちや意図を他者に伝えるコミュニケーション能力を得る。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	知的所有権	30	フリーランスのWebデザイナーである宮崎宏治氏が担当する。自分の権利を守り、他者の権利を侵害しないよう、知的所有権の知識と意識を持った制作者を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デッサン・クロッキー	90	日本画家として活動中の日下氏、またはクリエイターアーティストの川内祐司氏、または化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽氏が担当する。「立方体・円柱・円すい・球」など基本形の描き方を習得します。形が正確にとれること、明暗法、遠近法、量感、質感の表し方等、身の回りにあるものをモチーフに表現します。テクニックを身に付け、光と影、風、水など、「美」はうつろい変化するものの中にあることを学びます。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デザイン図学	30	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽均氏が担当する。完成度及び正確性の高いデザインワークと、多方面から物を見ることを可能とし、デザイナーに必要な技術を習得し、プロの仕事を理解することができる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	立体構成	60	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽均氏が担当する。平面以外の表現ができるようになる。パッケージデザインに必要な技術を習得できる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デザイン発想	60	デザイン事務所経営の甲賀雅章氏が担当する。センスは知識で磨かれることを知る。そして、アイデアのヒントは身近に溢れていることを実感する。それらを通して、思いつきのデザインではなく、説得性、意味性のあるデザインを習慣づける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	ビジュアルデザイン I	30	グラフィックデザイナーとして活動している本野智美氏が担当する。視覚的効果の表現力、伝達能力の向上を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	コミュニケーションデザイン I	60	フリーランスでデザイン業務を行なっている水内章裕氏が担当する。日常生活のなかで普段目にしていないモノや形・色・文字に対して、意識的かつ創造的な視点で認識する態度を身につけ、さまざまな表現の発想法を学習します。また、課題制作のスケジュールを自分で管理を行えるようになることを目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	コミュニケーションデザイン II	30	かつて大手広告代理店に勤務し、現在はイラストレーターとして活動しているちばえん氏が担当する。 ①自分の「得意技」や新しい切り口(斬り口)の発見！ ②発想する楽しさ(『考えること』のクセづけ)発想の引き出し増やし。 ③プレゼン<『発表』というコミュニケーション>に慣れる。 ①～③を通し、『生きる力』につなげる。目標『深化』。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	コミュニケーションデザイン III	60	デザイン事務所を運営している前田ミネオ氏が担当する。課題に対してあらゆる視点から特長を見いだす力と、表現力に幅ができる。広告の意義・意味を理解し伝えることの大切さを知り、情報を整理する力が身につく。伝えるためのコミュニケーション能力の向上とキャッチフレーズなどのコピーライティング力も養われる。

文化・教養	グラフィックデザイン科	2	コピーライティング	30	地元の静岡でフリーのコピーライターとして活動している北村氏、または村松氏が担当する。コピーの実習を繰り返しながら、コピーを「考える・書く・選ぶ」ことのできるデザイナーになることを目指す。キャッチフレーズが書ける・もしくは選べるようになること。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	イラストレーション I	60	フリーのイラストレーターとして活動している山田ケンジ氏、漫画家でプラモデル企画等の活動もしているたなかよしみ氏が担当する。パースベクトイプの基本的な作図理論と制作方法を学び空間認識力の基礎を身につける。画材(コピックライナー、コピック、色鉛筆を使用予定)の基本的な使い方を身につける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	タイポグラフィー I	30	かつて広告デザイン事務所を営み、現在はフリーのデザイナーとして活動している池田仁氏が担当する。デザインの視野を広め、タイポグラフィーの基本を学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	レイアウト演習	30	グラフィックデザイナーとして活動している本野智美氏が担当する。効果的なレイアウトのルールを習得し、デザインの流れを実際に自分の目や手で体感～認識することにより、レイアウトの基礎能力をあげる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	写真 I	60	フリーカメラマンの萩原和幸氏、及び萩原一浩氏が担当する。自分で撮影した写真をプリントして、客観的な評価を基に他人に伝わる写真を撮る。デジタル一眼レフを使用するの撮影写真の基礎的知識と露出(シャッタースピードと絞りの関係)の理解など、撮影技術を身につける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デザインアプリケーション I	120	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏または九島亮氏が担当する。デザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopの基本操作を習得し、制作ツールのオペレーション能力を身に付ける。また、後半ではモバイルコンテンツ制作の基礎も学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	DTP演習 I	30	印刷会社においてグラフィックデザイン業務の経験がある橋本明奈氏が担当する。印刷物におけるさまざまなテーマの制作物にチャレンジすることで、デザイン制作における制作力の定着と応用力を見つける。また、たくさんの印刷物を見ることで、視野を広げ、アイデアの引き出しを増やす。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	Web基礎	90	フリーのWebデザイナーとして活躍している大村道彦氏、または遠藤次朗氏、または宮崎宏治氏が担当する。検定問題によるテストや課題制作を通じて、HTML・CSSの基礎力を深めていく。単ページ～小規模ウェブサイト構築が出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	Web実践	90	フリーのWebデザイナーとして活躍している大村道彦氏、または遠藤次朗氏、または宮崎宏治氏が担当する。課題制作を通じて、HTML・CSSをより理解でき、実践的なウェブデザインの能力・技術を習得する。小・中規模ウェブサイト構築までが制作出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	セールスプロモーション	30	グラフィックデザイン事務所を営んでいる杉本光俊氏が担当する。販促促進やマーケティングについての考え方を理解する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	ユニバーサルデザイン	30	グラフィックデザイン事務所を営む黒住政雄氏が担当する。ユニバーサルという視点で世の中を見る事で、誰が何を必要としているのかを考える。また、これからの社会にはどんなデザインや仕組み、概念が必要であるのか、それを実現させるにはどうしたら良いのかを研究するプロセスを学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	メディアユニバーサルデザイン	30	グラフィックデザイン事務所を営む黒住政雄氏が担当する。前半の「ユニバーサルデザイン」で習得した知識や情報を実際の形に可視化するコンペティションへ作品を出品する事で、学びを挑戦に変える。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	ビジュアルデザイン II	30	グラフィックデザイン事務所を営む黒住政雄氏が担当する。グラフィックデザインを制作するにあたってのデザインソフト数種類のオペレーション及びPCの最低限のテクニック習得。またその前段であるアイデア創出やクライアントとのコミュニケーション能力向上を反復練習により習得。半歩でも1歩でも生徒の意識改革が進み、個人意識向上を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	タイポグラフィー II	30	かつて広告デザイン事務所を営み、現在はフリーのデザイナーとして活動している池田仁氏が担当する。タイポグラフィーで表現出来るデザインの可能性を知る。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	アドバタイジング I	60	コピーライターの松永志郎氏と、グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏2名体制で担当する。啓蒙広告に取り組むことで社会と向き合う力を養う。情報収集のやり方・企画から表現に着地させるプロセスを体験と広告の構築力を身につける。

文化・教養	グラフィックデザイン科	2	アドバタイジングⅡ	30	グラフィックデザイン事務所を営む前田ミネオ氏が担当する。毎日広告デザイン賞を目指して広告としての斬新な考え方やデザイン表現学び、作品完成までの制作過程を実践的に体験することで、物事に対する視野が広がり洞察力が芽生える。賞に応募することで自身のデザイン力を客観的に知ることができる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	CI	30	グラフィックデザイン事務所を営む杉本光俊氏が担当する。CIの意図、法的内容、制作方法を習得する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	パッケージデザインⅠ	30	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽均氏が担当する。発想やコンセプトから制作、プレゼンテーションまでのデザインプロセスを演習課題を通して経験し実行できるようになる。様々な形態のパッケージの構造を理解し、作成できるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	パッケージデザインⅡ	30	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽氏が担当する。卒業制作などの作品に応用できる、完成度の高い作品を制作できるようになる。パッケージを応用した、パッケージ以外の作品への応用ができるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	DTP演習Ⅱ	30	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏、浅岡昇平氏が担当する。DTPソフトを使用し、テーマに沿った物を制作。印刷物に必要な知識・技術を習得し、素早く情報整理しレイアウトする力を身につける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	エディトリアルデザイン	90	印刷会社においてグラフィックデザイン業務の経験がある橋本明奈氏が担当する。企画から取材・原稿整理及び管理・印刷手配まで全てを行うことで、雑誌制作のノウハウを理解する。現場と同様のグループワークの勉強ができる。InDesignをはじめとした illustrator、Photoshopの基本操作の定着。取材依頼で外部の人と接することで社会人としての話し方、接し方も学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	イラストレーションⅡ	30	フリーのイラストレーターとして活動している山田ケンジ氏が担当する。発想する感性とそれを視覚化するための各種画材の基礎技法を身に付ける。デッサン力の向上。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	イラストレーションⅢ	30	イラストレーターの東京モノケ氏が担当する。各媒体広告などに使用する「商業用イラスト」を描くスキルの向上を目的とする。ツールを使い分け、ターゲットや商品内容に相応しいイラストを作成できるようにする。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	キャラクターデザインⅠ	30	クリエイターアーティストの川内祐司氏が担当する。思考方法の確立と、それに伴う思考と技術の立体把握ができるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	コミックイラスト	30	フリーのイラストレーターとして活動している山田ケンジ氏が担当する。発想力、技術力の応用力を身につける。特にデジタル表現でも人体構造の研究、的確な人体のデッサンと空間認識力の二つをメインのテーマとして授業を進める。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	写真Ⅱ	30	フリーカメラマンの萩原一浩氏が担当する。自分で撮影した写真を基に DM ポストカード等のレイアウトを行い作品を制作する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	写真Ⅲ	30	フリーカメラマンの萩原和幸氏が担当する。撮影方法と判断・現場の作り方、展示で写真の見せ方を学習。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	現像技術	30	グラフィックデザイン事務所を営む杉本光俊氏が担当する。現像ソフトを使う技術。適切な補正方法、合成・修復方法を習得する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	コマーシャルフォト	30	フリーカメラマンの萩原一浩氏が担当する。多灯のストロボを使い、物の立体感や質感を出し1灯では出来なかった物の質感及び立体感を表現する
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	ファッションフォト	30	フリーカメラマンの萩原和幸氏が担当する。撮影方法と判断・現場の作り方を感じとれるようにする。ストロボ1灯で物の立体感や質感を出し、三次元を二次元にした時の表現を考える。

文化・教養	グラフィックデザイン科	3	3Dデザイン	60	株式会社スタジオプロスにて3DCGの仕事に携わっている深野暁雄氏が担当する。 3DCGによるモデリングに必要な基本的な技術の習得しポートフォリオで効果的な作品を表現出来るようにする。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	映像演出	60	かつてはグラフィックデザイン事務所に勤務し、現在は映画制作活動を行なっている海野洋二氏が担当する。実写の映像演出や、その演出から生まれるアイデア、編集を学びながら、ACジャパン広告学生賞CM部門への応募を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	音楽演習	30	かつて音楽コンテンツ制作会社に勤務し、現在はフリーでラジオ番組ディレクターを務めている大畑秀人氏が担当する。最終課題(映像作品のオーディオトラックを制作する)において、自分のアイデアなどをどこまで表現できるのか、その表現方法と技術を学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	クレイアニメーション	60	クレイアーティストの川内祐司氏が担当する。 クレイアニメーションに必要な企画から編集までの総合的取り組みを学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	インタラクティブデザイン	60	【映像】株式会社スタジオプロスにて3DCGの仕事に携わっている深野暁雄氏が担当する。 映画、CM、アニメ、ゲームなど広い分野で国内外で広く使われている3DCGツール「Maya」(マヤ)のモデリング(立体造形)ができるようになることを目標とする。 【Web】Webデザイナーの宮崎氏が担当する。 現在習得しているHTML・CSSの基礎の理解を深め、2年間の学習成果をポートフォリオサイトにまとめ、就職活動のツールとして役立てる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	モバイルコンテンツ制作	60	Webデザイナーの大村道彦氏が担当する。 スマートフォンやタブレットなどに対応したデジタルコンテンツを制作出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	CM制作	60	映像ディレクターの中野康弘氏が担当する。 オンエアする「静岡デザイン専門学校」TVCMの制作を通して、商業的な作品を制作し、一貫した映像制作の流れの理解をする。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	Webプログラミング	60	Webデザイナーの大村道彦氏が担当する。 HTML・CSS、Javascriptを用いて、インタラクティブなコンテンツが制作出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	Webゼミ	60	Webデザイナーの大村道彦氏が担当する。 小～中規模のウェブサイトの制作、CMSを使用したウェブサイト構築ができるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	映像ゼミ	60	デジタルコンテンツディレクターの竹島瑞樹氏が担当する。映像で表現する際の引き出しを増やし、伝えたいことを明確にし視聴者に伝えること。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	ストーリー構成 I	30	フリーの漫画家として活動しているオフィスルーシー・タナカ クミ氏が担当する。 頭に浮かんだ「漠然」とした「思い」「ストーリー」をどうやって原稿用紙に落とし込むかを学び「思い」が「カタチ」になっていく事を体感・実感する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	マンガ技法	60	漫画家でプラモデル企画等の活動もしているたなかよしみ氏が担当する。 アナログのマンガ制作に必要な道具の使い方も学びながら、8Pのストーリー漫画を完成させる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	背景画	30	フリーで広告漫画の制作活動をしているさいとうしげき氏が担当する。背景の基礎知識を身につけ、背景画を描く。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	マンガ制作 I	60	イラストレーターの東京モノケ氏が担当する。 クライアントを設定した単ページの漫画制作を通して、広告ツールとしての漫画の制作過程を学び、ターゲット層を意識した漫画作りのスキルを身につける。クリップスタジオを使用した2Pの広告マンガを完成させる。

文化・教養	グラフィックデザイン科	2	マンガ制作Ⅱ	30	フリーの漫画家として活動しているオフィスルーシー・タナカ クミ氏が担当する。クライアントを想定した広告でのカットイラストの制作を学ぶ。依頼内容をもとに見せ方や表現方法を研究し、「伝わるイラスト」を描く技術を伸ばす。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	マンガ制作Ⅲ	90	フリーで広告漫画の制作活動をしているさいとうしげき氏が担当する。漫画制作2で学んだ技術の復習に加え、新たに便利な使い方などを指導。実際のさいとうの描いた原稿を元にレイヤーの構成などを利用して作り方を学びながら、広告漫画を描くにあたり守るべきことなどを理解する。クライアントを想定した12～16Pのマンガを表紙も含め、デジタルでカラーで描き完成させる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	映像制作	30	映像ディレクターの中野康弘氏が担当する。映像編集ソフト、AfterEffects、Premiere Pro等の操作方法を習得。映像の企画、制作、放映まで全体の流れを勉強できる。またショー担当の学生をクライアント設定し学生同士が折衝をしてコミュニケーション能力を養える。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	キャリアプランⅠ	30	就職指導塾ジョブエールを運営する松本保美氏が実施する授業。社会人基礎力を理解して、ビジネスマンとして必要とされるスキルを学ぶ。ビジネスシーンを想定したロールプレイングを取り入れて、実践力を身につける授業を行う。同時にビジネスマナー検定3級の合格を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	産学連携プロジェクトⅠ	30	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏、他が担当する。デザインアプリの総編集として、地域と連携した実際の制作物に取り組む。クライアントの希望を読み取ったデザイン制作を行う力をつけ、デザイン制作におけるスケジュール管理を学ぶ。また、デザインアプリで学んだillustrator、Photoshopのデザイン系ソフトの使い方の習熟度を高める。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	産学連携プロジェクトⅡ	60	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽氏等が担当する。基礎学習を活かし、学校外部の方に対して企画～納品までが出来るようになる。イベントの企画やデザインの制作を通じて、地域の活性化を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	産学連携プロジェクトⅢ	60	グラフィックデザイン事務所を運営する黒住政雄氏、甲賀雅章氏が担当する。クライアントからの依頼である各種広告媒体を制作する。実践を通してコンセプトワークから制作、完成までを一貫して学ぶ。デザイン開発の50%以上は、リサーチ、分析、コンセプトの抽出、つまり考えることにある。ここがブレると、先進的なアイデアも効果ある表現も出てこないことを身を以て学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	卒業制作テーマ研究	30	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏、他が担当する。学校で学んだ全ての学習内容を活かし、社会に通じる商業的デザインの企画を組み立てられるようになる。また、SDGsを意識したデザインのアプローチ方法を考えることができる思考力を身につける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	卒業制作	150	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏が担当する。学校で学んだ全ての学習内容を活かし、社会に通じる商業的デザイン表現・提案を行えるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	卒業制作展示計画	60	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏が担当する。制作したデザインを効果的に伝える方法を検討し、魅力的に展示することができるようになる。
グラフィックデザイン科				3150	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デッサン	60	現役日本画家の目下文氏が担当する。 「立方体・円柱・円すい・球」など基本形の描き方を習得する。形が正確にとれること、明暗法、遠近法、量感、質感の表し方等、身の回りにあるものをモチーフに表現する。対象をよく観察し、テクニックを身に付け、光と影、風、水など、「美」はうつろい変化するものの中にあることを学ぶ。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	アイディアスケッチ	60	プロダクトデザイナーの経験を持つ羽賀潤平氏、及び雑貨デザイナー/木版画家の安富万里子氏が担当する。 手描きスケッチ・マーカーテクニックを習得し、いずれは自分に合った画材を選択しながら個々のスケッチスタイルを身につけていくことを目指す。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デザイン図学Ⅰ	60	静岡県工業技術研究所において3DCADソフトSolidWorksのインストラクターを務めている望月達也氏が担当する。 ・正確で美しい作図の習得 ・基本作図法の習得 ・三角図法による三面図の作図・立体を把握し二次元図面で正確に表現する力をつける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザイン図学Ⅱ	30	デザイン事務所「環プロダクツ」代表でプロダクトデザイナーの吉川秀男氏が担当する。 ・正確で美しい作図の習得 ・基本作図法の習得 ・三角図法による三面図の作図・立体を把握し二次元図面で正確に表現する力をつける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	平面構成	60	雑貨デザイナー/木版画家の安富万里子氏が担当する。 表現力・発想力の向上と画材選択の幅を広げることができる。講評会では学生間のコミュニケーションも大切にし、個々のもつ感覚を発見しながら伸ばすことも目標とする。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	伝統技法	30	駿河和染めの職人である鷲巢恭一郎氏が担当する。 新しい素材や技術の進歩が著しい現代のモノづくりにおいて、一体なんのためにモノを作るのか・・・自分の中に明快な答えを持ちデザインすることができる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	塑像	60	彫刻家である登坂真澄氏が担当する。 1:自然物の美しさに触れ、其の物が持つ構造、機能性、必然性を知る。 2:360度からの視点、観察力を身につけ、立体物を理解する。 3:水平軸、垂直軸の基準概念を身につけ、GLでの存在関係を理解する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	色彩学	60	色彩検定協会認定 色彩、UC級講師である、大橋としみが担当する。色彩検定3級資格取得、基本定期的なカラープラン・カラーコーディネートができる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザイン発想Ⅱ	30	デザイン事務所代表でプロダクトデザイナーの小泉秀一郎氏が担当する。 現役デザイナーの外部講師により、プロダクトデザイナーの発想法や観点を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	ユニバーサルデザイン	60	デザイン事務所「サルカワデザイン」代表でプロダクトデザイナーの猿川雄一氏、及びグラフィックデザイナーの本野智美氏が担当する。 日常生活の中から、ヒトとモノ、ヒトと環境に関する問題点を抽出し、各自のテーマに沿った具体的デザインを試みてユニバーサルデザインの理解を深め、さらに自分の考えを検証作業を行うことにより確認する。同時にデザインプロセスを学び、プレゼンテーション技術を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	シューズデザイン	30	企業内のデザイン部門でプロダクトデザイナーを務めた保科康浩氏が担当する。 足の構造に関する基礎知識、足に起こるトラブルの原因と対策方法の知識、履物の製作に関する基本的な知識を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	家具デザイン	30	デザイン事務所「環プロダクツ」代表でプロダクトデザイナーの吉川秀男氏が担当する。 ・自らのコンセプトを形にまとめる力を養う。 ・自らの作業工程をコントロールし実現する。 ・コンセプトを第三者に理解してもらってプレゼン能力を養う。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	ホビーデザイン	60	CRPデザイン研究所代表でプロダクトデザイナーの谷川憲司氏が担当する。 プロダクトデザインに必要な使い易さ、デザインの魅力を形で表現する。図面から、より正確にモデリング製作に結び付ける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	雑貨デザイン	30	雑貨デザイナー/木版画家の安富万里子氏が担当する。 雑貨をデザインするために自分の周りにあるヒントを発見し、実際に試作・検討をする。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	インダストリアルデザイン	60	CRPデザイン研究所代表でプロダクトデザイナーの谷川憲司氏が担当する。 人間中心のデザインを学ぶことにより、その後のデザイン活動における大事な基礎の一部分を築く。そしてグループワークでデザインプロセスを学ぶことによりコミュニケーション能力などを高め、さらにグループの考えを検証作業を行うことにより自分たちの考えを確認する。

文化・教養	プロダクトデザイン科	3	クラフトデザイン	30	駿河和染めの職人である鷺巣恭一郎氏が担当する。伝統工芸を知る。伝統工芸の考え方を学ぶ。伝統工芸をクラフトデザインへ変化させる過程を学ぶ。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	プラスチック成型	60	様々な素材を扱い彫刻を製作する彫刻家大村富彦氏が担当する。樹脂の成形方法を学び演習を行なうことで、この材料がこの先、どの様なデザイン分野に活用出来るかを考える。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	パッケージデザイン	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。素材の持つ、目に見えない「価値」や「イメージ」に姿を与え、「可視化」するデザイナーの在り方を目標着地点とし、プロダクトにおけるパッケージデザインの発想法を学ぶ。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザイン知識	30	デザイン事務所「環プロダクト」代表でプロダクトデザイナーの吉川秀男氏が担当する。道具＝プロダクトデザインの持つ機能性や、住環境との関係性などデザインに求められることがいささかでも理解されれば、実社会でのアドバンテージとなることが期待できると考えられる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	素材演習 木 I	30	クラフトフォーハンスを営んでいる木工職人の平松高典氏が担当する。木材の種類の違いを知り、その生産現場の様子を知り、木材の乾燥方法の特性を学ぶこと。それにより木を素材として扱う場合に適さぬ木材を選択できるようになる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	素材演習 木 II	90	クラフトフォーハンスを営んでいる木工職人の平松高典氏が担当する。 I 素材である「木」の範囲を木質系材料である合板まで広げ、これも含め素材を体感的に捉えていく。 II (1年次の「木 I」に比し)より広範な道具の使用方法および木材加工方法を実践的に学ぶ。 III (関連科目と通して)はじめのスケッチが、幾つもの模型や図面へと変化してゆくなか、厳しく検討が加えられ、そして作業場でかたち作られてゆくプロセスを経験する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	素材演習 ガラス I	30	里山ステンドグラス工房Sun craftsを営み、ガラス加工の指導をしている藤原俊氏が担当する。建築・雑貨・生活用品等の多くの場での需要・活用が多い「ガラス」を、素材として知ることができる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	素材演習 金属 I	30	アクセサリデザイナーの飯塚智氏が担当する。金属(真鍮)の板を加工しネームプレートを作成する。真鍮板を切る、削るという基本的な加工技術を理解、習得するとともに金属の特性を理解する。銀のペンダントの原型制作をし、金属の鑄造工程の基本を理解する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	素材演習 金属 II	30	アクセサリデザイナーの飯塚智氏が担当する。銀アクセサリデザイナーの飯塚智氏による授業。地金を加工し指輪を製作する。身につける金属製品を作ることで、実践的な造形力を身につける。素材としての金属をより理解し、技術面でのスキルアップを目指す。ワックスによる銀製品も製作し、鑄造工程をより理解し実践する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デザインアプリケーション I	120	グラフィックデザイナーの九島亮氏が担当する。デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザインアプリケーション II	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。PCを使用したグラフィックデザイン応用力の習得。専門スキルとの連動として、プロダクト製品とエンドユーザーをつなぐ、コミュニケーションツール(メインビジュアル・ロゴタイプ・パンフレットなど)の制作や指示ができるデザイナー育成を目指す。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デザインCAD I	60	静岡県工業技術研究所において3DCADソフトSolidWorksのインストラクターを務めている望月達也氏が担当する。3DソフトウェアSolidWorksのオペレーションを習得する中で、より高度な製品図面の描画を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザインCAD II	60	静岡県工業技術研究所において3DCADソフトSolidWorksのインストラクターを務めている望月達也氏が担当する。CADソフトのオペレーションを習得する中で、より高度な製品図面の描画を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	デザインCAD III	30	静岡県工業技術研究所において3DCADソフトSolidWorksのインストラクターを務めている望月達也氏が担当する。3DCADソフトThinkDesignのオペレーションを学習する中で、より高度な製品図面の描き方を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	ポートフォリオ制作 I	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。自分の情報を伝える手段として、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの制作手法を身に付ける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	キャリアプラン II	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①コミュニケーション能力を高める ②自分らしさの発見とスキルアップ ③ビジネスマナー検定対策 ④就職に必要な書類作成と就職活動の進め方を身につける

文化・教養	プロダクトデザイン科	3	キャリアプランⅢ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①文章力含めたコミュニケーション能力を高める ②社会人意識を身につける ③就職に対する疑問点、不安感の解消 ④実践力をつける
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	卒業制作/マーケティング	30	企業内でマーケティング部門に所属する土屋香美氏担当する。 ・「モノ」と「コト」の新しい価値を提案する「ライフスタイル提案シート」を作成、発表する。 ・実際の学科の活動で、この授業の学びの活かし方を考える。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	卒業制作/制作知識	60	企業内のデザイン部門でプロダクトデザイナーを務めた保科康浩氏と雑貨デザイナーであり、木版画家でもある安富万里子氏が担当する。 予め素材の知識、加工の知識及び実践を経験することにより卒業研究をより幅が広くより深いものにしていく。
プロダクトデザイン科				1560	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	インテリアデザイン科	1	立体構成	30	(有)小泉設計室を経営する二級建築士小泉 秀一郎氏が担当する。 空間デザインを学ぶための基礎学習として、形が持つ機能、立体を構成するための構造などを、身近な物から特徴を探る。 そこから得た立体物の特徴を捉え、アイデアで、作品を制作し理解
文化・教養	インテリアデザイン科	1	色彩学	60	色彩検定協会認定 色彩、UC級講師、大橋としみ氏が担当する。 『色彩検定3級』資格取得により、基本的なカラープラン、カ
文化・教養	インテリアデザイン科	1	デザインⅠA (設計製図)	60	1級建築士事務所代表の小林良行氏が担当する。インテリアを実現するための手書きによる、製図の基礎学習し、インテリア基礎製図の知識と表現力を身につける。
文化・教養	インテリアデザイン科	3	デザインⅢ	60	1級建築士事務所代表の小沼勝也氏が担当する。 近年需要が増えてきている、エクステリア分野について学ぶ。 またエクステリアプランナー2級取得希望者にも対応する。
文化・教養	インテリアデザイン科	2	空間デザインA (建築法規)	30	1級建築士事務所代表の中野年浩氏が担当する。 建築基準法を中心に基本となる法令等について学習する。建築物は新築するときに限らず、増築・改修や用途変更などにおいても確認しなければならない項目があり、演習などを通じてア
文化・教養	インテリアデザイン科	2	空間デザインB (建築生産)	30	1級建築士事務所代表の小沼勝也氏が担当する。 エクステリアプランナー3級程度の知識を身につける学習。
文化・教養	インテリアデザイン科	3	ポートフォリオ制作	30	現役のグラフィックデザイナーの本野智美氏が担当する。 2年次に制作したポートフォリオをさらにクオリティアップさせ、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの最終
文化・教養	インテリアデザイン科	1	キャリアプランⅠ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①文章力含めたコミュニケーション能力を高める ②社会人意識を身につける ③就職に対する疑問点、不安感の解消
文化・教養	インテリアデザイン科	2	キャリアプランⅡ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①コミュニケーション能力を高める ②社会人としての基本的マナーを身につける ③ビジネスマナー検定対策
文化・教養	インテリアデザイン科	3	キャリアプランⅢ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①コミュニケーション能力を高める ②自分らしさの発見とスキルアップ ③ビジネスマナー検定対策
文化・教養	インテリアデザイン科	1	産学連携プロジェクトⅠ	60	インテリアコーディネーターの宮沢千夏子が担当する。 クライアントからの要望を聞き取り、その要望に応じてのインテリアデザインを行う。
文化・教養	インテリアデザイン科	2	産学連携プロジェクトⅡ	30	インテリアコーディネーターの岩崎京子氏が担当する。 商品開発やイベントなどを実際に手掛ける。社会の中でデザイン力を活かす。
文化・教養	インテリアデザイン科	2	産学連携プロジェクトⅢ	30	インテリアコーディネーターの岩崎京子氏が担当する。 クライアントから要望を聞き取り、それを叶える為の提案を行う。
インテリアデザイン科				510	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	フラワーデザイン科	2	カラーイメージ	30	ハーブとアロマのお店を営み、カラーイメージアナリスト、アロマセラピスト他、数多くの資格を持つ森野裕子氏が担当する授業。アロマセラピーテーマ別、対象別に的確な花材を選び、リボン・ラッピングに至るまでトータルにコーディネートできるようにイメージ配色テクニックを磨き、お客様が想う色彩イメージを形にできるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	園芸福祉	30	フラワーサロンと小規模ディサービスを運営している田島和子氏が担当する授業。園芸福祉、園芸療法という言葉が社会に広まる中、知識を持っていることで社会に出ての自信になる。老人ホームでの実習体験を活かし、高齢化社会で活躍する人材になる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	フラワーアレンジメントⅠ	90	フラワーショップを営み、フラワーアレンジメント教室で指導しているフローリスト増田博氏による授業。生花フローリストとして必要な知識をや技術を身に付けることができ、オリジナリティ豊かな作品を制作することができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	フラワーアレンジメントⅡ	60	フラワーショップを営み、フラワーアレンジメント教室で指導しているフローリスト増田博氏による授業。フローリストとして必要な知識をや技術を身に付けることができ、オリジナリティ豊かな作品を制作することができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	フラワー装飾Ⅱ	60	フラワーショップを営み、フラワー装飾一級技能士の資格を持つ久保田広樹氏による授業。国家検定フラワー装飾3級の技術を身に付け合格できるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	植物知識	30	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。植物に携わる者として相互依存・相互扶助の意識を持って仕事に努め、現代社会に貢献できる知識と精神を習得できる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	園芸Ⅰ	60	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。四季の植物の育て方と用土、肥料など園芸基礎を学ぶ事によりお客様からの園芸相談や商品解説を時代に合った方法、言葉で解説でき実習作業でより理解も深まるようになる。又、新しい園芸の楽しみ方の提案もできるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	園芸Ⅱ	60	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。お客様との対話の方法がわかり、プロとして自覚を持てるようになる。また、花壇作りの手順と年間管理がわかるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	フラワービジネス論	60	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。フラワービジネスの基本知識の習得。産地生産、市場流通、経営、マーケティングの基礎的な知識を身につけることができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	接客技術	30	ハーブとアロマのお店を営み、カラーイメージアナリスト、アロマセラピスト他、数多くの資格を持つ森野裕子氏が担当する授業。フラワーショップの販売員としての基礎知識を習得できる。授業を通じてコミュニケーションスキルを向上する。人前でも臆することなく自信を持って堂々と話ができるようになる。美しい立ち居振る舞いができる。正しいかつぜつ、正しい敬語を使い、好印象を与える接客ができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	セールスプロモーション	30	フラワーサロンと小規模ディサービスを運営している田島和子氏が担当する授業。プロモーションとマーケティングの関連の基礎。小売店舗における販売促進の基本的手法と重要さの理解。店舗出店する際に、必要とされる販売促進ツールのひとつポスター、チラシのデザインを制作する。ショップコンセプトが反映され、より集客につながる表現方法を学ぶ。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	生け花	60	お茶とお花の家元であり、長年、生け花協会会長である講師や、何年もその流派の静岡県支部長である講師もいる。一花一葉のもつ花の美しさから、花材そのものの性質をいかした様々なバリエーションまで、花そのものを多方面から扱えるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	ショップ経営	30	公認会計士の資格を持つ松本真由美氏が担当する授業。店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を習得する
文化・教養	フラワーデザイン科	1	キャリアプランⅠ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。コミュニケーション能力を高め、社会人としての基本的マナーを身につけ、自分らしさの発見とスキルアップし、就職に必要な提出書類作成方法を学ぶことができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	キャリアプランⅡ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。コミュニケーション能力を高め、社会人に求められるものを把握し、就職に対する疑問点、不安感の解消する力を養うことができる。
フラワーデザイン科 合計				690	